

重点戦略

3

まちの活性化と知名度アップ

まちづくり宣言 8

大学のあるまちのメリットを活かした特色あるまちづくりを進めます。

① 現状認識

- ・これまで、まちづくりのパートナーである流通経済大学との連携のもと、小中学校へのボランティア学生の派遣など、「大学のあるまち」のメリットを活かした龍・流連携事業を進めてきました。
- ・スポーツ健康センターの竣工、保育士養成コースの創設など、大学施設やカリキュラムの充実により、新たな連携事業のチャンスが広がっています。
- ・サッカー部、ラグビー部などの運動部が全国レベルで活躍しています。また、サッカー部を応援する市民団体「まちの応援団」が結成され、市民主体で活発な応援活動が展開され、まちの元気につながっています。
- ・様々な連携事業を展開しているものの市民の認知度は依然低く、幅広い分野での連携事業の展開による認知度の向上が課題となっています。

② 宣言が目指すまちの姿

市民が大学を身近に感じ、大学（学生）との活発な交流が展開され、まちと大学の活性化につながっています。

③ 実践に向けての考え方

(1) 龍・流連携事業の認知度の向上

龍・流連携事業や大学情報の積極的な発信に努め、龍・流連携事業の認知度の向上を図ります。

(2) 大学（学生）・市民の交流促進

流通経済大学の豊富な人材や充実した施設を活用し、市民の関心の高い参加型イベントを開催し交流の促進を図ります。

(3) 新たな連携体制の構築

市・大学に加えて、企業も交えた連携体制を新たに構築し、産業の活性化やにぎわいの創出、まちの活性化に向けた取組を進めます。

市民の役割

地元の大学に関心を持ち、まち全体で学生の活躍を応援します。大学・学生は、イベントや地域活動に積極的に参加し、まちの担い手としての役割を果たします。

行政の役割

情報発信の強化により認知度の向上に努めるとともに、市民ニーズを捉えた龍・流連携事業を展開します。

4 主要事業

主要事業名	内 容
龍・流連携事業に関する情報の発信	様々な媒体を通じて流通経済大学や龍・流連携事業の情報を発信し、認知度の向上に努めます。
市民大学講座 ^{*1} の充実	大学資源を活用することで、市民ニーズが高く、専門性の高い講座を開催します。
大学運動部のバックアップ	まちの応援団等の市民団体との連携を図り、市民と共に大学運動部をバックアップします。
学生割引サービス ^{*2} の拡大	学生のニーズ把握に努め、協力店の拡大を図ります。
大学国際観光学科との連携 新規	大学国際観光学科との連携を図り、地域ブランド戦略の構築に取り組みます。
保育分野での連携 新規	大学社会学科保育士養成コースの新設を契機に、保育分野での連携事業を実施します。
企業等との連携体制の構築	市・大学に企業も交えた連携体制を構築し、産学官の協働の取組を推進します。

5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. 市民の龍・流連携の認知度(%) ※龍・流連携事業の市民への広がりを見る指標	38.8	43.8
2. 龍・流連携事業や大学のイベント、スポーツ応援、公開講座等に参加したことがある市民の割合(%) ※龍・流連携事業の市民への広がりを見る指標	14.0	19.0
3. 学生の龍・流連携の認知度(%) ※龍・流連携事業に対する学生の意識を見る指標	19.5	25.0
4. 小中学校ボランティア派遣事業 ^{*3} に参加した学生数(人) ※大学と小中学校との交流状況を見る指標	44	70
5. 学生割引サービス協力店数(店) ※大学と市民との交流状況を見る指標	56	80

*1市民大学講座 : 龍・流連携の一環として行う市民のための講座。

*2学生割引サービス : 龍・流連携事業の一環で、流通経済大学の学生を対象とした飲食店等の学割サービス。

*3小中学校ボランティア派遣事業 : 流通経済大学生を市内小中学校へ派遣し、学習支援や生活支援を行うことで交流を図る事業。